

第1号様式(第10条関係)

平成 31 年 4 月 26 日

沖縄県議会議長 殿

会 派 名 沖縄・自民党

代表者名 島袋 大



平成30年度政務活動費に係る収支報告について

沖縄県政務活動費の交付に関する条例第10条第1項に基づき、別紙のとおり平成30年度政務活動費収支報告書を提出します。



別紙

平成30年度 政務活動費収支報告書

会派名 沖縄・自民党

1 収入 政務活動費 16,700,000 円

2 支出

(単位:円)

項目	支出額	備考
調査研究費	3,072,544	旅費・ホテル・乗物・通訳代等
研修費	0	
広聴広報費	2,416,886	各定例会DVD委託作成料 会派ホームページ制作・委託料 (月) 議会活動ニュース(会派版・個人版)
要請陳情等 活動費	128,400	旅費 宿泊費
会議費	84,780	茶菓子(案分)・飲物代(案分)
資料作成費	104,518	コピー代 委託業務代 パネル・スプレーのり
資料購入費	354,515	沖縄タイムス・琉球新報・八重山新報・産経新聞・宮古毎日新聞 本土三紙(読売・日経・朝日)
事務費	1,659,698	コピーリース コピーカウント 大判プリンターリース NHK受信料 パソコンリース PCセキュリティー 固定電話 ホワイトボード コピー用紙 インデックスラベル 会議用椅子等
人件費	8,899,148	人件費 社会保険料 労働保険料
合計	16,720,489	

注 備考欄には、主たる支出の内訳を記入する。

3 残余 0 円

## 経費区分別支出一覧表

経費区分 調査研究費

日付	使 途 内 容	支出額	充当割合	充当額
5/24	濟州島視察旅費 観光公社・クルーズターミナル・世界自然遺産 神話ワールド視 察の際関係者から説明・意見交換等 (5/25～27)	918,000	全額	918,000
5/24	濟州島視察振込手数料	540	全額	540
8/1	那覇港湾視察 バス貸切(7/26)	24,840	全額	24,840
11/5	東京視察旅費 内閣府・防衛省・外務省・都庁関係者との意見交換・国立競 技場 豊洲視察 (11/14～17)	1,582,400	その他	1,141,160
11/5	東京視察旅費代 振込手数料	864	全額	864
11/12	東京視察 お土産	13,900	全額	13,900
11/12	東京視察 宮古⇒那覇(座喜味)	16,100	全額	16,100
11/12	東京視察 ホテル代 (大浜)	62,000	その他	37,200
11/14	東京視察 交通費①(羽田⇒浜松町)	4,410	全額	4,410
	東京視察 交通費②(新橋⇒汐留)	1,140	全額	1,140
	東京視察 交通費③(汐留⇒国立競技場)	2,420	全額	2,420
	東京視察 交通費④(国立競技場⇒都庁前)	2,520	全額	2,520
	東京視察 交通費⑤(都庁前⇒永田町)	3,920	全額	3,920
11/15	東京視察 交通費①(ホテル⇒衆議院第二会館)	4,120	全額	4,120
11/16	東京視察 交通費①(ホテル⇒豊洲)	5,320	全額	5,320
11/17	東京視察 交通費①(ホテル⇒空港)	5,700	全額	5,700
11/17	東京視察 旅費(復路分) 東京⇒石垣	42,790	その他	41,790
3/20	パラオ視察 飛行機代(往路のみ) 宿泊代 車両 ガイド(通訳) (大統領 上院・下院議員副議長意見交換・施設視察等) (3/28～4/1)	1,176,300	その他	778,400
3/27	パラオ視察 お土産(10個)	10,800	全額	10,800
3/31	パラオにて現地払い(乗船料)	59,400	全額	59,400
A. 小計				
B. (ガソリン代総額 - 費用弁償(交通費)総額) × 1/2				
C. 支払証明書計				
調査研究費 充当合計(A+B+C)				3,072,544

※Aは、BとC以外の全ての経費の計。

※Bは、自家用車燃料費をガソリン代領収書で計算する場合、記載の式で計算すること。

※Cは、領収書の無い経費を支払い証明書で充当する場合、支払証明書の合計額を記入。

※A・B・Cの合計は、収支報告書の各経費の支出額と一致すること。

充当割合: 政務活動費のみ全額充当

調査研究費

No. ZF 1634923

## 領収証

RECEIPT

2018年5月24日

沖縄自民党 様

領収金額	¥ 918,000
------	-----------

上記金額には消費税等が含まれています。

但し、航空券代金 クーポン券代金 団体旅行代金 申込金として

旅費として (990円)

上記正 (現金・クレジットカード) で精取致しました。

発行店 TEL 0988691111

発行店 54 国際業務部

発行者


**沖縄ツアーリスト株式会社**  
 財務部 沖縄県豊見城

2にお客様用

旅費請求金額 1,015,560 円

旅費 918,000 円(9人分) (沖縄⇄済州島直行便)

昼食・夕食(90,000円)待合室室料(7,560円)。

$$1,015,560 - (90,000 + 7,560) = 918,000$$

旅費 918,000 円

振込金受取書 (兼振込手数料受取書)

(振込手数料受取書) (振込手数料受取書)

当行をご利用いただきありがとうございます。  
 \* 振込金が「現金・現物証券(自己宛小切手・自店当座小切手)」のときは「振込金受取書(兼振込手数料受取書)」として、「上記以外」のときは「振込受付書(兼振込手数料受取書)」として使用します。

ご依頼日	30年5月24日	お振込指定日	300524
お振込先	銀行名	沖縄海邦銀行	
	支店名	[Redacted]	
お受取人	振込金額	918,000	
	振込手数料	540	
お受取人	お名前(漢字)	沖縄 ツーリスト (株) 10 様	
	お名前(英字)	OKINAWA TOURIST (株)	
お受取人	お住所	[Redacted]	
	お電話番号	[Redacted]	

出納済

沖縄海邦銀行 30.5.24

釜川支店

KAIHO

No.3041 (425.032) 2/2

振込手数料  
¥540

経費区分	<b>調査研究費</b>		
年月日	平成30年5月25日～27日		
場所	濟州島		
相手方	観光公社・クルーズターミナル・世界自然遺産 神話ワールド視察の際関係者から説明・意見交換		
目的	別添		
日程概要	月日(曜日)	時間	場所
	別添		
内容	別添		
成果及び所見	別添		
備考			

会派 沖縄・自民党 濟州島視察・研修（報告）

1. 実施期間 : 2018年 5月25日(金)~27日(日) 2泊3日
2. 参加者 : ①島袋 大 (団長) ②仲田 弘毅 ③中川 京貴  
④末松 文信 ⑤座喜味 一幸 ⑥又吉 清義  
⑦西銘 啓史郎 ⑧座波 一 ⑨新垣 新
3. 視察目的 :
  - ① 濟州観光公社との意見交換 (濟州島観光の状況について)
  - ② クルーズターミナル視察 (現状と課題について)
  - ③ 世界自然遺産センター視察 (島内3ヶ所の現状等について)
  - ④ 神話ワールド視察 (IR (統合型リゾート) の開発状況について)
  - ⑤ 東門市場視察 (濟州島民の台所である市場の状況について)上記5点を主な目的として視察を行った。

4. 濟州道について

- 面積 : 1,850 km<sup>2</sup> (沖縄本島の1.5倍)
- 離島 : 79箇所 (有人島8箇所、無人島71箇所)
- 人口 : 681千人 (韓国全体の1.28%) ●世帯数 : 279千世帯
- 経済指標 : GRDP 1.7兆円 (沖縄県 4兆円) ●失業率 1.9%
- ITOP(島嶼観光政策フォーラム)

濟州、沖縄、バリ、海南が中心となり設立。

(会員地域 : ハワイ、スリランカ (南部州)、プーケット、  
タンザニア (ザンジバル島)、セブ島、ペナン)

1997年から毎年開催。2019年 沖縄開催予定



## 5. 日 程 : 詳細別紙参照

### 1日目 (5月25日)

#### (1) クルーズターミナル (北部)

島の北部にあるクルーズターミナルは定期航路もあり、島民の足として、港は利用されている。

しかし、THAAD (ミサイル) 配備により中国からの客船が激減 (2017年度 414回 2018年度 35回) との事。

団体客の渡航が禁止されクルーズ市場は大打撃。

#### (2) 済州観光公社 (李 在鴻 本部長、李 先洪 日本チーム長)

##### ① 済州観光の現状 (2018年 4月現在)

●再訪問 (リピーター率) : 33.4% (2014年 10.6%)

●滞在日数 : 4.84日 (2014年 3.02日)

●消費金額 : 1,584US\$ (2014年 975.5US\$)

●旅行形態 : 団体 15.4% (70.9%) FIT 79.2% (24.6%)

##### ② カジノについて

現在ホテル内のカジノが 8 か所 (韓国全体で 16 か所)

●2017年 カジノ売上 176 億円 (10%を観光振興基金として納付)

⇒観光振興基金は 2016 年から済州で独自運営 (それまでは国が運営)

韓国全国で唯一。(振興基金 : 納付金、出国納付金、運営収益金)

##### ③ 課題について : 数的目標から質的目標への変換

##### ④ クルーズについて : 環境変化で激減 (THAAD 配備)

中国中心⇒ホテル、お土産品店を中国系を回るため地元企業への貢献少ない。

●クルーズに対し、8時間以上滞在、2ヶ所の観光地巡り条件付け

2日目(5月26日)

(3) 世界自然遺産センター

島の東部にあるセンターで火山の爆発による島の歴史を動画で確認。

島中央にあるハンラサン(山)高さ1,947m

(4) 神話ワールド : Landing International (安徽省)

濟州島への投資 2,500億円

島の南西部を開発(ホテル、MICE、テーマパーク等)

カジノについてもIR(統合型リゾート)を目指す。

雇用 2000人 第2期完成後 6000人

(5) 東門市場 : 濟州市北側にあり島民の台所として海産物、食料品

衣類等が小さな店舗が多く立ち並び営業していた。

那覇市の公設市場を彷彿させ、活気に満ちていた。

3日目(5月27日)

(6) 三姓穴 : 7世紀まで濟州島にあった独立国建国神話の聖地。

始祖である高乙那、良乙那、夫乙那がここから地上に現れたと言い伝えられている。

その歴史等、沖縄との共通性も多くあることから今後、濟州島との交流を深めていく事も重要であると感じた。

6. 成果 : 今回の視察目的を2泊3日という短い日程の中で効率的に

こなすことが出来、大変有意義な視察であった。

クルーズ船の課題、観光公社として共通の課題、IRの進め方等々沖縄県にとって参考とすべき事柄も多く、会派として議会にて質疑・提言を行っていくことが出来ると確信した。

以上



視察/濟州島  
(平成30年5月25日～27日)

調査研究費

参加者名	各議員より成果及び所見等
① 島袋 大	クルーズ施設の視察を目的に、観光産業を中心にマイルズ国際会議等IR事業を見た。濟州島は、観光客1500万人を超え、海外観光客が300万人、国内が1200万人という状況であった。国内での観光客リピート率は35～40%を占める内容だった。沖縄県もハワイを越えたとは言っているが、やはり国内観光客の増やリピーター率の増を考えていかなければと感じたところである。
② 末松 文信	視察研修の目的は、濟州島における観光振興について、特にクルーズ船・IR型カジノ及びMICE施設の研修をした。観光については2000年の約400万人から2016年で約4倍の1,580万人と好調に推移している。クルーズ船は、年間400隻を超えていたようですが、韓国にTHAAD配備により中国が韓国観光の禁止政策を打ち出したことで年間35隻に激減したとの事。観光産業は政治的なリスクが高い。カジノのギャンブル依存症対策も色々実施していた。
③ 西銘啓史郎	今回の視察目的は、①濟州観光公社との意見交換(現状と課題)②クルーズ視察③IRの視察④世界自然遺産センター視察と2泊3日の多岐に渡る目的をほぼ完済に達成できた。特に濟州島の歴史沖縄の歴史の共通点、現在観光地としての課題も多く共通点があり、今後参考になる取りくみも数多くあった。 『神話ワールド』では役員との質疑も予定時間をオーバーする程で、大変勉強になった。沖縄としても投資条件を整備しながら民間の活力を利用することも重要であると感じた。
④ 仲田 弘毅	・観光立県を唱える本県と『歴史・地理的に似た条件を痛感した』 ・観光産業が国際情勢からの影響や政治の動向等に厳しさも同様である ・本県観光の従来、戦跡巡りから観光商品の開発が必要であると考え
⑤ 中川 京貴	本県における一千万人観光立県一兆円観光産業を目指し、基地経済から観光経済に変えていかなければならない。 その為には、ホテル・企業誘致をする為、クルーズ船の港湾整備やIRやMICE施設の整備等濟州島の歴史と文化沖縄との共通点等付加価値をつけた商品開発等参考になった。
⑥ 又吉 清義	濟州島は観光立県として、MICEやリゾート型ホテル・IRなど既に既存し特区として国から位置づけられ、これからも更にその発展に向けた環境整備や大型プロジェクトの開発等など将来に向け進められております。我が沖縄県もこれから観光立県として進むのにあたり、その核ともいえるMICEやリゾート型ホテルIRのメリット・デメリット等その実態を調査研究する事は、今後の県政に必要な事柄である。例を申し上げますと大型クルーズ船の入航による入客者の改善された敏速な対応システムは即地域の経済効果を直面する。残念ながら県ではまだ改善されていない
⑦ 座喜味一幸	フリーゾーンとして観光が成功している。県として大いに参考にすべき。統合型のリゾートへの取り組みの主体が明確。カジノからの収益が観光基金として運用されている。観光振興投資誘発に政治の安定・施策の一貫性が重要との提案もあった。中国人の激減は観光産業を進める上で充分考慮すべき。
⑧ 座波 一	観光業や第3次産業の構成が70%を占める濟州島は観光の先進地として、沖縄県が参考にすべき事が多かった。 クルーズ観光受入れ施設を整備したにも拘わらず、中国との防衛問題(サード)で中国からの入域者が激減したことは、観光業と政情不安の関係を改めて認識した。 沖縄が目指す大型MICE施設事業も国との政策との関係や、国外資本による導入を視野に入れ、質の高い高付加価値のある観光業の確立に向け参考になった。
⑨ 新垣 新	・今回の濟州島視察で、IR統合リゾートの中のMICE見学と意見交換、沖縄県が進めるMICE単独と民設民営化のMICEの維持管理と差が多くあり沖縄県が進めるMICE維持管理費に対する問題が多く出ると肌で感じました。 沖縄県におけるMICE誘致はもっと慎重にかんがえていくべきだと考えました。

沖縄・自民党 視察・研修団 海外視察日程

濟州島 3日間

	月/日	時 間	日 程	食 事	宿泊地
1	2018年 5月25日 (金)	7:30 9:30 11:00 12:00頃 15:00 夕刻	那覇空港国際線ターミナル1階 集合 Tway(ティウェイ)航空(チャーター便) TW9274便にて濟州島へ 【所要時間 :1時間30分 時差無し】 濟州島着(入国手続き)専用車にて移動 クルーズバス視察(ターミナル内立入、関係者同行) 市内レストランにて昼食 濟州観光公社と意見交換(本部長、研究調査チーム、日本チーム対応) ホテルチェックイン後 夕食	昼食 夕食	濟州市
2	2018年 5月26日 (土)	朝 9:00 午前 14:00 夕刻	ホテルにて朝食 専用車にて移動 世界自然遺産センター視察 市内レストランにて昼食 統合型リゾート(IR)施設「神話ワールド」視察 市内レストランにて夕食 ホテル着	朝食 昼食 夕食	濟州市
3	2018年 5月27日 (日)	朝 9:00 11:30 13:30 15:30	ホテルにて朝食 ホテル発専用車にて移動 龍頭岩、三姓穴 視察 濟州国際空港到着、チェックイン・出国手続き Tway(ティウェイ)航空(チャーター便) TW9273便にて那覇空港へ 【所要時間 :1時間30分 時差無し】 那覇空港着	朝食 昼食:各自	

※上記スケジュールは、現地道路状況や、施設予約状況により、多少変更となる場合もございます。

宿泊予定ホテル	新羅ステイ濟州 濟州特別自治道 濟州市 蓮洞 274-16/老蓮路100	TEL:+82-64-717-9000
---------	---	---------------------

充当割合 \* 政務活動費のみ全額充当

印 紙	<b>領 収 書</b>	No. 006209							
沖繩・自民党 様		平成30年8月1日							
金額	<small>億 千万 百万 拾万 万 千 百 十 一</small> ￥ 2 4 8 4 0 <small>(消費税を含みます)</small>	<table border="1"> <tr><td rowspan="3" style="text-align: center;">内 訳</td><td>現金</td><td></td></tr> <tr><td>振込</td><td></td></tr> <tr><td>小切手</td><td></td></tr> </table>	内 訳	現金		振込		小切手	
内 訳	現金								
	振込								
	小切手								
但し	平成30年7月26日貸切バス代金として								
上記金額を領収致しました。									
発行店	<b>空港営業所</b>	 <b>株式会社 北部観光バス</b> <small>本社 / 〒905-0006 沖縄県名護市 〇〇〇〇</small> <small>Tel.0980-54-5888 fax 〇〇〇〇</small>							
発行者	[Redacted]								
<small>(社印及び受領者印なきもの並びに金額訂正、複写なきものは無効とします)</small>									

バス借り上げ料 24,840 円

視察調査報告書

経費区分	<b>調査研究費</b>			
年月日	平成30年7月26日			
場所	那覇港湾			
相手方	那覇港湾関係者との意見交換会			
目的				
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	26日	09:30 ~ 13:00	議会⇔那覇港湾内	
内容	別添			
成果及び所見	別添			

参加者名	各議員よりの成果及び所見等
① 島袋 大	改めて現場を見る大切さを感じた。海事産業において物流は沖縄の産業として発展するチャンスである。 復帰して46年、物流倉庫の老朽化や人材の育成それも国の国家戦略として、国との連携をしっかりとやらなければいけないと思う。
② 具志堅 透	慢性的な交通渋滞などの原因による県経済振興の妨げ等課題がある中、今回の現場踏査で海事産業界の方々から現状説明や要請を受け大変参考になった。 今後、物流の観点から、県の産業振興に役立てていきたい。
③ 西銘啓史郎	海事産業に携わる業界の方々との意見交換・現場視察は大変有意義であった。 特に那覇港・安謝港の環境整備は早急に対応しなければならない。 船荷としての生活物資やその他の荷物の積みおろし作業、また、それらを保管する倉庫、又、それらの地上輸送を担うトラック協会等、一連の流れの中で課題が明確となる中、ひとつずつ着実に早急に解決していきたいと強く思った
⑤ 仲田 弘毅	島嶼権である本県のライフラインに直結する港湾・海運事業はもつとも大事である。 それに伴う倉庫業、上屋、運送のトラック業が連携を密にする事はより大切である。 現場主義で現場の声が聞けた事は有意義と考える。
⑥ 座波 一	経済発展のバロメーターともいえる物流は県全体の90%が海事産業が担っており、その役割を果たす 為に環境整備が貧しいのが現実である事が分かった。 海事産業は、国管轄の分野が大きく県はしっかり現場の要請を受け、国へ反映するべきだと感じた。
⑦ 新垣 新	改めて実感したことは、沖縄県の物流は海事産業を合せて限界がきている。 改めて海事関連や物流を含めて『 仕分が必要 』と考えていくべきだと強く感じた



東京視察(11/14~17日) 3泊4日

会派\*沖縄・自民党 14人参加

- ①島袋 ②照屋 ③具志堅 ④中川 ⑤末松 ⑥又吉
- ⑦西銘 ⑧仲田 ⑨花城 ⑩山川 ⑪座波 ⑫新垣 ⑬座喜味
- ⑭大浜(個人手配)別添②

11月定例に向け、また次年度の予算等の勉強であったのでこの時期の日程での視察・勉強会時期もいくつかの案で検討してましたが、シーズン時期で飛行機・ホテル等も一杯であり、予約が取れる時期と先方との調整もこの期間となったので、当初より計画されていた議員派遣研修直後となってしまった。

※その際、ホテルのみの手配すると、凄く割高であったので、事務局手配ではなく会派での手配が安かったので手配し、その後事務局が負担分を算出し、残金を会派支出分とし計上。

※急きよ党務日程が入ってしまい、党務が含まれるので案分計上。

参加者	12日発	119,800×3=359,400	(島袋・具志堅・照屋)	※党務含む
	13日発	122,300×3=366,900	(中川・末松・又吉)	※公務含む
	14日発	122,300×7=856,100	(7人)	

(西銘啓史郎\*仲田弘毅\*花城大輔\*山川典二\*座波一 新垣 新\*座喜味一幸)

合計額 1,582,400円 下記領収(13名分)

一旦全額支払ったのち、政務外金額差引充当しております(別添①)

※他店振込手数料3万円以上864円 適用外差し引いても金額同額なので全額充当 振込手数料864円

振込金受取書 (兼振込手数料受取書) (振込する方へお送り)

振込依頼日 30年11月5日 お振込指定日 30/1/05

振込金額 158,240円

振込手数料 864円

お振込先 三井住友銀行

お振込先(振替) E-EX-E-セルス(中)

お振込先(振替) 沖繩・自民党会派

お振込先(振替) 沖繩県那覇市泉崎1-2-3 4F

振込 沖繩海邦銀行 県内出張所

30.11.05

振込手数料864円

お願い

- お振込みは、早くてお振込みをご利用ください。
- 振込専用窓口の場合、あらかじめ窓口でお振込みの準備をお願いいたします。
- 午後2時以降振込ができませんので、なるべく午後2時までにお願いいたします。
- 振込専用ATMは、お振込みのみの専用ATMです。ATM番号を通知せず、お振込みの場合にはお振込みの文字によりお振込みします。
- 振込専用ATMは、お振込みのみの専用ATMです。お振込みの目的は、お振込みのみの専用ATMです。
- ATMを操作する際、お振込みの目的、お振込みの金額、お振込みの金額等によって振込が確認することがあります。



調査研究費

別添

旅費支払額 1,582,400 円→政務活動以外も含まれている

参加者 13名

7名 ①西銘 ②仲田 ③座喜味 ④花城 ⑤山川 ⑥座波 ⑦新垣

@122,300×7=856,100

① 7人分 856,100 円

3名 ①末松 ②中川 ③又吉

政務活動以外(公務)含まれる為案分

飛行機代(片道上限 43,590) 往復 87,180 円(公務の為公費負担分)

122,300×3=366,900

122,300 - 87,180 = 35,120

1人 35,120 円

35,120×3=105,360

② 3人分 105,360 円

3名 ①島袋 ②照屋 ③具志堅

政務活動以外(党務)含まれる為 案分

@119,800×3=359,400

119,800×1/2=59,900

59,900×3=179,700

③ 3人分 179,700 円

856,100 + 105,360 + 179,700 = 1,141,160

(1,582,400 - 1,141,160 = 441,240 441,240 円 適用外)

13名分旅費 政務活動充当金額

1,141,160 円

充当割合:政務活動費のみ全額充当

調査研究費

お土産代

### 領 収 証

2010年 11月 12日 No. 002360

松尾 自民党様 (有)新垣 ちんすこ子本舗

牧志店/那覇市牧志  
TEL/FAX 098-86-  
松尾店/那覇市松尾1  
TEL/FAX 098-86-

下記の通り領収致しました

品 名	数 量	単 価	金 額	摘 要
茶菓子 山上製	10	1390	13900	
消 費 税				
合 計			13900	

担当者名

お土産(茶菓子) 13,900円

充当割合:政務活動費のみ全額充当

調査研究費

会派視察(11月14日~17日)

座喜味一幸 宮古より那覇空港にて合流

往路 宮古⇒那覇 ¥8,050 16,100円

復路 那覇⇒宮古 ¥8,050

領収書 RECEIPT 1001288487

下記の金額正に領収致しました。

RECEIVED FROM 北村三郎様

THE SUM OF ¥16,100 (税込) (TAX INCLD.)

但し運賃・料金として  
IN PAYMENT OF AIR FARE-FREIGHT

航空券番号 TICKET NUMBER 1311438031517

関連航空券番号 OTHERS \*\*\*\*\*

発券日 DATE OF ISSUE 2018年11月12日

備考 REMARKS クレジット(JL) ¥16,100

発行:日本航空株式会社 MMYKD 2018年11月12日

印紙税電台納  
付につき品川  
税務署承認済

充当割合:政務活動費以外が含まれるので案分

調査研究費

宿泊期間 \* (11月12日~17日)5泊6日

個人日程(要請活動)(12日~14日)(2日分)

会派視察 (14日~17日)(3泊分)

支払日が11/12になっているのは、別日程(要請)で宿泊しており、14日~17日分(会派視察)を前払いした為

$$62,000 \div 5 = 12,400$$

1泊 12,400円

$$12,400 \times 3 = 37,200$$

宿泊代(3日分) 37,200円

No 014323

領収書 大浜一郎 様

金額 

¥	6	2	0	0	0
---	---	---	---	---	---

 ※

※金額を訂正したものは無効です

但し  宿泊代  駐車場代  その他 \_\_\_\_\_ として  
上記の金額正に領収致しました

ダイワロイヤル株式会社  
ダイワロイネットホテル 茨城  
〒104-0061 東京都中央区銀座1-13-15  
Tel 03-5159-1380 Fax 03-5159-1381

収入印紙

2018年11月12日

現金(¥)  クレジット(¥)

発行者

充当割合:政務活動費のみ全額充当

交通費

14日 ①羽田空港⇒浜松町⇒新橋 (@630)

630+1,890+1,890=4,410

7名分 4,410円

**領収証**

利用年月日 2018年11月14日

取引内容 乗車券発売  
ご利用金額 630円

・毎度ありがとうございます。  
・この領収証は大切に保存してください。

発売駅名 羽田空港第2ビル  
券番号 A08  
伝票番号 1178  
東京モノレール株式会社

**領収証**

利用年月日 2018年11月14日

取引内容 乗車券発売  
ご利用金額 1890円

・毎度ありがとうございます。  
・この領収証は大切に保存してください。

発売駅名 羽田空港第2ビル  
券番号 A05  
伝票番号 1227  
東京モノレール株式会社

**領収証**

利用年月日 2018年11月14日

取引内容 乗車券発売  
ご利用金額 1890円

・毎度ありがとうございます。  
・この領収証は大切に保存してください。

発売駅名 羽田空港第2ビル  
券番号 A08  
伝票番号 1178  
東京モノレール株式会社

②新橋⇒汐留 (@190)

190+570+380=1,140

6名分 1,140円

(※3名領収無)

**領収書**

様

ご利用日付 2018年11月14日  
時刻 1時11分

取引内容 乗車券購入 金190円

新橋→汐留

伝票番号 91491

・この領収書は大切に保存してください。  
・毎度ありがとうございます。

前橋駅 102発行  
株式会社ゆりかもめ

**領収書**

様

ご利用日付 2018年11月14日  
時刻 1時12分

取引内容 乗車券購入 金570円

新橋→汐留

伝票番号 91492

・この領収書は大切に保存してください。  
・毎度ありがとうございます。

前橋駅 102発行  
株式会社ゆりかもめ

**領収書**

様

ご利用日付 2018年11月14日  
時刻 1時12分

取引内容 乗車券購入 金380円

新橋→汐留

伝票番号 91493

・この領収書は大切に保存してください。  
・毎度ありがとうございます。

前橋駅 102発行  
株式会社ゆりかもめ



14日

③ 汐留⇒国立競技場

2,420円

$(220 \times 2) + (660 \times 3) = 2,420$

@ 220 × 11名分

領収書

様

ご利用日付 2018年11月14日  
時刻 12時25分  
カード番号: ----  
取引内容: 乗車券購入 金220円

印紙税  
第1号  
非課税

220円 → 12時25分  
伝票番号: 82670

毎度ありがとうございます。

都 汐留駅 券 02発行  
東京都交通局

領収書

様

ご利用日付 2018年11月14日  
時刻 12時25分  
カード番号: ----  
取引内容: 乗車券購入 金220円

印紙税  
第1号  
非課税

220円 → 12時25分  
伝票番号: 82671

毎度ありがとうございます。

都 汐留駅 券 02発行  
東京都交通局

領収書

様

ご利用日付 2018年11月14日  
時刻 12時23分  
カード番号: ----  
取引内容: 乗車券購入 金660円

印紙税  
第1号  
非課税

660円 → 12時23分  
伝票番号: 82669

毎度ありがとうございます。

都 汐留駅 券 02発行  
東京都交通局

領収書

様

ご利用日付 2018年11月14日  
時刻 12時26分  
カード番号: ----  
取引内容: 乗車券購入 金660円

印紙税  
第1号  
非課税

660円 → 12時26分  
伝票番号: 82672

毎度ありがとうございます。

都 汐留駅 券 02発行  
東京都交通局

領収書

様

ご利用日付 2018年11月14日  
時刻 12時27分  
カード番号: ----  
取引内容: 乗車券購入 金660円

印紙税  
第1号  
非課税

660円 → 12時27分  
伝票番号: 82673

毎度ありがとうございます。

都 汐留駅 券 02発行  
東京都交通局



14日

④ 国立競技場⇒都庁前

2520円

@180×14名分

領収書

様

ご利用日付 2018年11月14日  
 時刻 13時24分  
 カード番号: ----  
 取引内容: 乗車券購入 金2520円

印紙税法  
 第5条第1項  
 非課税

都庁前⇒都庁前  
 伝票番号: 01572

・毎度ありがとうございます。

国立競技場 券 02発行  
 東京都交通局

⑤ 都庁⇒永田町

3,920円

2,240 + 1,680 = 3,920

@280×14名分

領収書

様

ご利用日付 2018年11月14日  
 時刻 16時23分  
 カード番号: ----  
 取引内容: 乗車券購入 金1680円

印紙税法  
 第5条第1項  
 非課税

都庁⇒永田町  
 伝票番号: 02258

・毎度ありがとうございます。

都庁前 券 02発行  
 東京都交通局

領収書

様

ご利用日付 2018年11月14日  
 時刻 16時30分  
 カード番号: ----  
 取引内容: 乗車券購入 金2240円

印紙税法  
 第5条第1項  
 非課税

都庁⇒永田町  
 伝票番号: 02259

・毎度ありがとうございます。

都庁前 券 02発行  
 東京都交通局

280×14

15日 ①新橋(ホテル)⇒衆議院第2会館

ホテル 新橋

ホテル→新橋

領収書  
 現・チ・ク・割引 No.8819  
 日付 2018年11月15日  
 車番 101060 000  
 基本運賃 ¥970円  
 運賃料金計 ¥970円  
 通行料他計 ¥0円  
 合計 ¥970円  
 上記の通り領収致しました  
 毎度ご乗車ありがとうございます。  
 お忘れ物・お気付きの点は当社へ  
 新光タクシー株式会社  
 東京都足立区江北2-28-21  
 TEL 03-3898-2584

No.5493  
 領収書  
 2018年11月15日  
 車番001168 000  
 メーター 970円  
 運賃合計 970円  
 合計 970円  
 明治交通株式会社  
 お忘れ物、お気付きの点は、  
 TEL03-3813-4711  
 無線タクシーのご用命は  
 東京無線タクシー配車センター  
 TEL 03-3361-2111

領収書  
 (現金・チケット・クーポン・福祉)  
 日付 2018年11月15日  
 車番 6578  
 基本運賃 ¥1050円  
 合計 ¥1050円  
 (内消費税等 ¥77円)  
 内訳  
 現金支払 ¥1050円

通行料、他 円  
 上記正に領収いたしました。  
 ご利用ありがとうございます。  
 kmグループ  
 km品川自動車タクシー(株)  
 東京都板橋区向原9-10-11

お忘れもの、領収書に  
 に関するお問い合わせは  
 TEL 03-3955-3114

お気付きの点、ご要望は  
 kmグループお客様相談室  
 TEL 0120-717-039  
 または 03-5620-6588  
 <kmタクシーwebサイト>  
 www.km-taxi.tokyo  
 <ナビコード>  
 A44-4654-0227  
 (営業回数2247)✓

ホテルから新橋  
 領収書  
 (現金以外はご利用明細書)  
 2018年11月15日  
 車両番号、1387  
 運賃 ¥1130円  
 合計 ¥1130円  
 上記金額正に領収しました  
 ご利用ありがとうございます  
 大和自動車(株)  
 ☎ 3633-6611  
 無線配車センター ☎ 3563-5151

970+970+1,050+1,130=4,120

電車の通勤ラッシュ時と重なり、乗車厳しく又、時間的にも厳しくタクシー移動へと変更

4台分 4,120円

充当割合:政務活動費のみ全額充当

16日 新橋(ホテル)⇒衆議院第二会館



1,140+380+1,140+1,140+760=5,320

14名分 5,320円

充当割合:政務活動費のみ全額充当

調査研究費

17日 新橋 (ホテル) ⇒ 空港 @570 人数 10名

※4名分領収無

領収書 新橋 → 空港

様

ご利用日付 2018年11月17日  
時刻 10時44分  
カード番号: ---  
取引内容: 乗車券購入 金1140円

印紙税法  
第65条の2  
非課税

伝票番号: 26556

毎度ありがとうございます。

都: 新橋駅 券 02発行  
東京都交通局

2名分 1,140円

領収書

様

ご利用日付 2018年11月17日  
時刻 11時16分  
カード番号: ---  
取引内容: 乗車券購入 金4560円

印紙税法  
第65条の2  
非課税

新橋 → 羽田空港  
8名分

伝票番号: 22554

毎度ありがとうございます。

都: 新橋駅 券 03発行  
東京都交通局

8名部 4,560円

10名分 5,700円





JAPAN AIRLINES

調査研究費

WEB c977acbc61cda4ef96793729be2e7d8d

2018年11月01日 17:44

# 領収書

RECEIPT

下記の金額正に領収いたしました。

RECEIVED FROM : 大浜一郎様

金額

THE SUM OF : ¥ 42,790 円 (税込み)

但し	IN PAYMENT OF	運賃として AIR FARE-FREIGHT
航空券番号	TICKET NUMBER	1311436632617
航空券発行日	DATE OF ISSUE	2018年10月31日
発行所	PLACE OF ISSUE	日本航空
備考	REMARKS	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

日本航空株式会社  
Japan Airlines Co., Ltd.

## ご利用区間・運賃明細

お客様	搭乗日	出発地	到着地	便名	利用運賃	金額
OOHAMA ICHIROU 様	11月17日(土)	東京(羽田)	石垣	JTA073	特便割引3-タイプC(クラスJ)	¥42,790

合計金額	<b>¥42,790</b>
------	----------------

旅費(復路代) 41,790 円

会派視察(11月14日~17日)

11/12より既に東京で個人視察中であり、14日より会派と

合流の為、復路のみ充当

視察調査報告書

経費区分	調査研究費			
年月日	平成30年11月14日～17日			
場所	東京			
相手方	内閣府・防衛省・外務省・都庁・豊洲			
目的	今後の沖縄振興の在り方 日米地位協定について 基地の整理縮小等意見交換			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	14日	午後～夕方	国立競技場視察 都庁へ	
			国会議員と意見交換	
	15日	09:00～12:00	内閣府勉強会	
		13:30～16:00	外務省	
	16日	08:00～12:00	豊洲視察	
		13:00～16:00	防衛省	
		16:00～16:45	国土交通省 要請活動	
17日	10:00～	東京⇒沖縄		
内容	<b>勉強会及び視察</b> (別紙詳細あり) 視察 都庁・豊洲・国立競技場等 勉強会/意見交換 1 内閣府 今後の沖縄振興の在り方 2 外務省 日米地位協定について 3 防衛省 基地の整理縮小			
成果及び所見	別添			
備考				



参加者名	各議員より成果及び所見等
① 島袋大	日本の台所豊洲市場は、しっかりとした管理体制で行っていた。内閣府では、沖縄予算新たな沖縄振興法についての考えなど意見交換をした。外務省では、日米地協定について議論させて頂きました。防衛省では、基地問題議論をさせて頂いた。代表一般質問で参考とする
② 末松文信	2020東京オリ・パラの準備状況を視察したが、オリ・パラの関係意義を勉強する事が出来た。豊洲市場の盛況ふりとシステムが行き届いている感。内閣府・外務省・防衛省との勉強会は、いつもより堅い感じがした。何故か
③ 具志堅透	外務省や内閣府、防衛省において沖縄県の課題について勉強会を行った。県にとって米軍基地問題は解決すべき大きな課題である。外務省、防衛省での基地の整理縮小についての意見交換、とりわけ日米地位協定の改定は、喫緊の課題であり、県の調査と国の考え方等意見交換が出来た事は有意義であった。また、内閣府では県予算や新たな沖縄振興策について等意見交換ができた。今後、議会活動へ活かしていきたい。
④ 西銘啓史郎	東京都庁・外務省・内閣府・防衛省と勉強会、意見交換できた事は大変有意義であった。今後も定期的に行う事や、地元総合事務局、外務省(沖縄事務所)防衛協とも情報交換をしていきたい。会派として結束も固めることが出来たことも有意義であった。
⑤ 仲田弘毅	各省庁、視察での勉強会に於ける情報交換は大きな意義のあるものであった。可能であれば年2回東京と沖縄での2ヶ所で研修等を希望したい
⑥ 照屋守之	日米地位協定の改定は、事件・事故の発生と防止策がとられていない事が要因であると思う。基地の日米共同管理や所在市町村との連帯を提言した。
⑦ 中川京貴	台風24・25号の被害に対する要請に、国土交通省下司港湾局長が前倒しをして対応するとした。又、防衛省において防音工事は31億円増額の平成31年度は147億円の予算要求となっている。
⑧ 座喜味一幸	県と国との見解の違い。予算執行の実態、大型マイス事業の鉄軌道等見透しがたない事。外務・防衛との意見交換でも大きな収穫があった。年2回意見交換会等の機会を持つと県議会が充実する
⑨ 又吉清義	外務省の貝原室長との研修会では、地位協定について他国と比較検討した場合に、米国の駐留するスタンスの違い、そして自衛隊の自国は自国で守れる完璧な位置づけであるかないかの違いにより米軍との地位協定のあり方が反映されているなど、日本国とは異なる現状は事実であり、自衛隊の位置づけについても改めて初めて地域協定の見直しが出来たものである。又、日米安全条約の目的、我が国及び極東の平和と安全の維持についても改めて理解をし、重要性を再認識する。内閣府による沖縄振興予算一括交付金についても国の沖縄に対する熱い思いや取り組み等、特別優遇処置等を含み、更なる継続の必要性を確認する。防衛省との調査研究には、職員との初対面が多く、問題意識の確認については納得できない所もあり、積極的な調査研究の場を設けなければならない必要性を感じた。自らの機会の少なさを痛感した。築地から移転し、10月22日開業した豊洲市場の物流のスムーズな流れや運営、その取扱量に対するシステム以外にも、豊洲市場を核とした街づくり、道路網の整備、観光地として、いかに地域、経済に貢献するか、その企画力の奥の深さなど、基地の返還地跡利用に多いに参考が出来た。最後に、今回の調査研究において、各調査部門について一つ一つ丁寧に充分な時間をかけた事は非常に良かった。
⑩ 花城大輔	在沖米軍基地問題、又は隊員による事件・事故の処理方法、そして約束を守らせていく為には、引き続き努力を重ねていくべきだと感じた。年に1回はこのような機会が必要だと感じた。
⑪ 山川典二	内閣府・外務省・防衛省、東京都庁、豊洲市場視察等勉強になりました。年に2回は意見交換等の会合性の必要を感じた
⑫ 座波 一	内閣府とは沖縄振興計画の仕組みと今後について、外務省日米地位協定書とは、協定の内容と県との見解の違いについて、防衛省とは基地騒音や米軍機の墜落事故を減らす為の取り組みについて等踏み込んだ意見交換が出来た。今後充分参考になった。最後に今回の調査研究において、各調査部門について一つ一つ丁寧に充分な時間をかけた事は非常に良かった。
⑬ 新垣 新	豊洲市場を視察をし感じたことは、世界一の衛生管理で、魚の鮮度等、密封型の高度衛生管理型、荷さばき施設で県民が安全で新系満市場を豊洲の高度衛生・管理型のモデルを議会で提言していく。
⑭ 大浜 一郎	都庁、豊洲、内閣府、外務省、防衛省の勉強会は、大変有意義なものでした。特に内閣府沖縄振興局との会議では、今後の振興策の方向性が未定であり不安であった。外務省では、認識の違いが明らかになり防衛省との意見交換は大変良かった。今後とも研修を通して政策に強い資質を図り自民党を強くしたいとおもった。

## 沖縄県自民党会派東京研修会及び要請

平成30年11月15日(木)~16(金)

11/15(木) 9:00~12:00 衆議院第二議員会館 9F - 918号室

1.内閣府	中嶋 護	政策統括官(沖縄政策担当)付総括担当参事官	口文部(漢字)
	田村 公一	沖縄振興局総務課長	(りきか)
	荒竹 宏之	政策統括官(沖縄政策担当)付企画担当参事官	

議題(1) 今後の沖縄振興の在り方

① 沖縄振興予算、一括交付金について

② 2021(H33) 年度以降の沖縄振興の位置づけ

(2) その他

11/15(木) 13:30~16:00 衆議院第二議員会館 9F - 918号室

2.外務省	貝原 健太郎	北米局日米地位協定室長
-------	--------	-------------

議題(1) 日米地位協定について (要請)

① イタリア・ドイツ・韓国・シブチの沖縄県調査との比較 (要請)

(2) その他

11/16(金) 13:00~16:00 衆議院第二議員会館 B1 - 第8 会議室

3.防衛省	村井 勝	地方協力局沖縄調整官
		外 3名

議題(1) 基地の整理縮小について

① 普天間・辺野古の進捗

② SACO合意、再編計画について

(2) 訓練移転、危険性の除去について

① 普天間及び県内基地(嘉手納)

(3) 米軍基地内ごみ処理について

① 米軍基地内での処分場設置について (要請)

(4) 防音工事の次年度予算と申請の簡素化について (要請)

(5) その他

注) 16:30~16:45 『要請』 国土交通省副大臣 塚田一郎 ※国土交通省4F副大臣室

平成 30 年 11 月 16 日

国土交通大臣

石 井 啓 一 殿

沖縄県議会 会派 沖縄・自

会 派 長 島 袋



台風 24 号による災害復旧事業について（要請）

平成 30 年 9 月 28 日からの台風 24 号により、沖縄県内各地において公共土木施設について多大な災害が発生致しました。

今回の台風被害は公共土木施設のみならず、民間施設や農林水産業にも多大な被害が発生致しております。

つきましては、沖縄県知事より既に報告済み（平成 30 年 10 月 9 日発信：土海第 693 号）ではありますが、ここに公共土木施設災害復旧事業費国庫負担の早急のご対応を下記の通り強く要請致します。

記

1. 予算の確保と早急な復旧作業の実施をお願い申し上げます。

以上

**領 収 証** OS № 024600  
RECEIPT 2019年3月20日

沖縄・自民党 様

領収金額	7	/	1	7	6	千	3	0	0
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

上記金額には消費税等¥ \_\_\_\_\_ が含まれています。

但し、航空券代金 クーポン券代金 団体旅行代金 申込金として


110万円 旅行代金 4名様分として

上記正に (現金・クレジットカード・ \_\_\_\_\_ ) で領収致しました。

発行店TEL. | 0 | 9 | 8 | 8 | 6 | 9 | 1 | 1 | 1 | 1 |

発行店 54 国際業務部

発行者 \_\_\_\_\_



**沖縄ツアーリスト** 株式会社  
財務部 沖縄県豊見城市 \_\_\_\_\_

旅費総額 1,176,300円に、

ホテル朝食代・4/1 発復路代・交通費 (ガイド込/次年度充当) が含まれているので差引く

1 朝食代 (3/29~31) 3日分 (@2300×3×4) 27,600円 適用外  
 $1,176,300 - 27,600 = 1,148,700$

2 航空券代  $179,400 \div 2 = 89,700$  1人分 89,700円

$89,700 \times 4 = 358,800$  4人分 358,800円

3 空港への (交通費+ガイド) 11,500円

次年度充当額 370,300円

(旅費)  $1,148,700 - 370,300 = 778,400$

旅費充当額 778,400円